

温度計測の基礎と実践

～熱移動の原理から

1名分料金で
2人目無料

熱電対・放射温度計の実践的な使い方【LIVE・アーカイブ配信】

◆日時: 2025年10月16日(木) 13:00～15:00

【アーカイブ配信: 10月17日(金)～10月31日(金)】

◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料: 1名につき44,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき33,000円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で44,000円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 株式会社ザズーデザイン 代表取締役 工学博士 柴田 博一 氏

(元・ソニー、元・サムスン電子、元・華為技術日本)

【受講対象・レベル】

今後商品の放熱設計に携わる設計者の方、
および放熱デバイスの開発に携わる技術者の方

【習得できる知識】

微小な部品の正確な温度測定方法を習得する

熱設計や放熱デバイスの開発に携わる技術者にとって、温度測定は避けては通れない作業の一つである。一般的には熱電対やサーモビューワを用いることにより、比較的簡単かつ正確に温度測定することが可能である。しかしながら、微小な部分の正確な測定をしようとする状況は一変する。熱電対での測定では、熱電対による熱伝導および大気への熱伝達が無視できなくなり、サーモビューワではセンサーの分解能が問題となってくる。

本セミナーでは、まず熱移動や熱抵抗に関する基本概念を詳しく解説し、それぞれの測定方法の基本原則、そして実際の測定の際に留意すべき注意点について詳しく説明する予定である。

【プログラム】

- 熱移動を支配する基本法則
 - 熱移動の3要素
 - 熱伝導(個体間の熱移動)
 - 熱伝達(個体と流体の間の熱移動)
 - 輻射(電磁波による大気への熱移動)
 - 熱抵抗
- 熱電対による温度測定
 - 3つの熱電効果
 - ゼーバック効果による温度測定
 - 熱電対の種類と使い分け
 - 熱電対による温度測定の際に留意すべき点
- サーモビューワによる温度測定
 - 測定対象の輻射率
 - センサーのピクセルサイズ
 - ピクセルサイズによる解像度の変化

【質疑応答】

【LIVE配信セミナーとは?】

- 本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
- お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。
- お申込み後、接続テスト用のURL(<https://zoom.us/test>)から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。
- 後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- セミナー資料は前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。

『温度計測【WEBセミナー】』セミナー申込書

< LIVE配信

アーカイブ配信 >

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>